

# 2023 年度 日本病理精度保証機構 (JPQAS) オプションサーベイ パラフィンブロックの DNA・RNA 品質チェック手順書

本オプションサーベイは、FFPE ブロックから抽出される DNA・RNA の品質確認サーベイとなります。  
本手順書をご一読の上、下記の手順に沿って検体のご準備、送付をお願いいたします。

## 1. 送付物

- 1) 2.0ml スクリューキャップマイクロチューブ            2 本
- 2) 1.5ml マイクロチューブ                                    2 本
- 3) チャック付きポリ袋                                        1 枚
- 4) 本手順書
- 5) HE 染色標本を入れる標本ケース

※DNA、RNA のどちらかのみで参加される場合は、2.0ml・1.5ml チューブの数はそれぞれ 1 本ずつ、  
合計 2 本の送付となります。

## 2. サーベイ実施手順

- 1) **確認**：上記 1)～5)の送付物を確認してください。
- 2) **症例選択**：以下の基準に基づき、症例 (FFPE ブロック) の選定を行ってください。
  - ① 癌種：**肺癌、なければ乳癌、どちらもなければ大腸癌**
  - ② FFPE ブロック作製日時：**2020 年 10 月～2020 年 12 月**の間に手術され、FFPE ブロック  
が作製された手術材料(もしくは FFPE ブロック作製後 2 年半～3 年以内の FFPE ブロック)
  - ③ 大きさ：腫瘍部を 10 mm×10 mm 以上含むもの

注 1：FFPE ブロック作製後、**2 年半から 3 年以内の FFPE ブロック**を対象とします。薄切後、  
送付・測定までの期間を考慮し、上記②の日時の中で採取された検体で検討を行いたく、ご協力を  
お願いいたします。

注 2：今回は、FFPE ブロックから抽出される DNA・RNA の品質確認のため、マイクロダイセ  
クションはせず、切片全体での品質確認となります。品質確認には濃度が 10ng/μl 以上の  
DNA、25ng/μl 以上の RNA、が必要となります。適切な濃度を満たさなければ品質の正確な測  
定ができなくなる可能性がありますので、上記③を参考に FFPE ブロックをご選定ください。

- 3) **HE 標本作製**：選定したブロックから 1 枚目は通常の診療に用いる手順で、HE 標本を作製して  
ください。
  - ① 自施設にあるスライドガラスを使用し、HE 染色標本を 1 枚作製します。フロスト部分には  
施設名と施設番号を記載してください。(病理番号は書かないでください) (次ページ HE 染  
色標本写真参照)
  - ② 作製後、上記、10 mm×10 mm の範囲に腫瘍細胞が含まれていることを確認してくださ  
い。マクロダイセクションは行ないませんので、腫瘍部のマーキングは不要です。
  - ③ 封入後、封入剤が完全に乾いてから HE 染色標本を標本ケースに入れます。
  - ④ 標本ケースに入れた HE 染色標本は室温で保管します。

4) **核酸抽出用の薄切切片作製**：選定したブロックから2枚目以降、ゲノム診療用病理組織検体取り扱い規定（日本病理学会）を参照し薄切してください。

- ① FFPE ブロックから、厚さ 10 $\mu$ m でロール状に連続切片で 8 枚薄切します。
- ② 4 本のチューブにパラフィンロールをそれぞれ 2 枚ずつ入れます。（チューブには、事前に書かれている施設番号以外は記載しないでください。）
- ③ チューブの蓋が開かないように、パラフィルム等でとめます。
- ④ 検体を入れたチューブは室温で保管します。

※DNA、RNA どちらかで参加の場合は連続切片で 4 枚薄切し、2 本のチューブに 2 枚ずつ入れます。

5) **返送**：2023年7月12日（金）～8月31日（木）

薄切後、**1週間以内に JPQAS 事務局に送付してください。**

- ・薄切切片入りチューブ 4本（2.0ml, 1.5ml チューブ 各2本）
- ・HE 染色標本 1枚（送付した標本ケースに入れる）

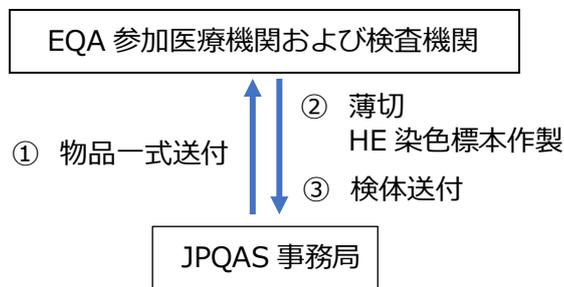
全てまとめてチャック付きポリ袋に入れてください。（下記の JPQAS 事務局への送付物参照）

提出した検体に関しお問い合わせをする可能性もありますので、使用した病理番号は施設内で控えておいてください。

検体は前期サーベイ標本と一緒に JPQAS 事務局に送付してください。やむを得ず前期サーベイ標本と別に送付する場合には、JPQAS 事務局にお問い合わせください。

作業・搬送フロー

参考写真



HE 染色標本

JPQAS 事務局への送付物



フロスト部分に施設名・施設番号を記載する



施設により送付される標本ケースが異なりますので、上記のどちらかの状態で返送してください

**HPの施設マイページより各症例についてアンケートにもご回答ください。**

以上

【問い合わせ先】

○事務的内容に関する問い合わせ：

NPO 法人日本病理精度保証機構（JPQAS）事務局  
TEL：03-3496-6950

担当：中本

○技術的内容に関する問い合わせ：

北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構  
先端診断技術開発センター 生体試料管理室

TEL：011-706-7933

担当：南家(なんげ)・田中  
責任者：畑中